

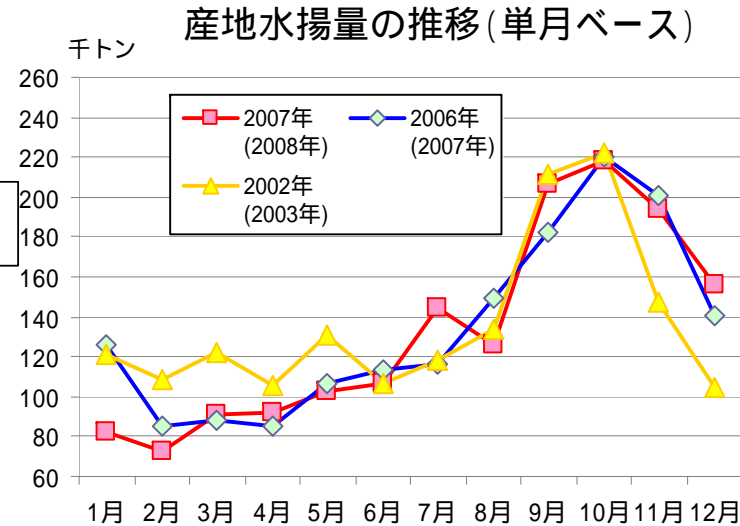
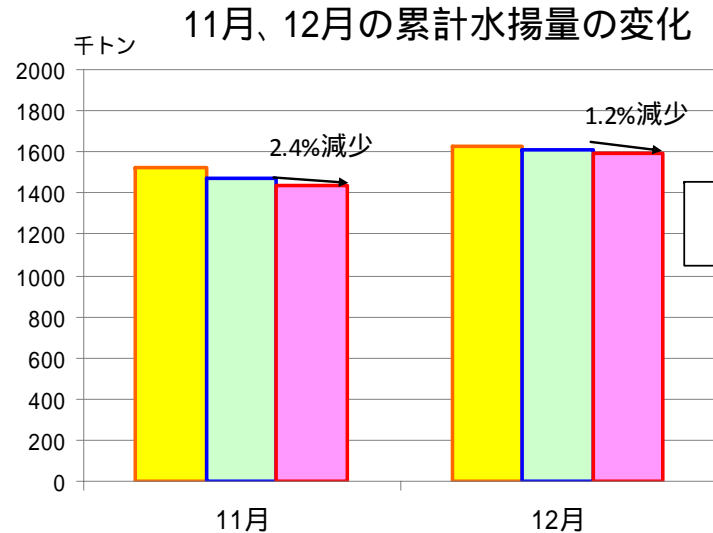
**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
及び家計消費の月別動向について(月報)**
(平成20年12月)

平成21年4月
水産庁漁政部企画課

1 産地水揚量の動向

2008年12月の水産物の累計の産地水揚量は、前年同月比で1.2%減少したものの、前年同月比2.4%減であった先月時点と比べ、減少幅はやや縮小した。これは、前年同月と比べ、12月単月ベースで冷凍かつお(40.3%減)、ほっけ(41.0%減)等の水揚量が減少したものの、さんま(696.4%増)、かたくちいわし(372.1%増)等で水揚量が大幅に増加したことにより、単月ベースでの水揚量が11.0%増加したことによる。

なお、前年同月と比べ累計水揚量が少ないのは、累月ベースでさば類、さんま、ほっけ等の水揚量が増加したものの、生鮮するめいか、かたくちいわし等が減少したことによる。



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H20累計
水揚量	数量(千トン)	1,614	83	73	91	92	103	107	145	126	206	219	194	156	1,594
	前年同月比	-3.3%	-34.4%	-15.2%	3.8%	9.0%	-3.6%	-6.3%	24.6%	-15.7%	13.3%	-0.9%	-3.1%	11.0%	-1.2%
	2003年同月比	3.1%	-32.0%	-32.8%	-25.3%	-12.2%	-21.5%	0.2%	22.9%	-6.1%	-2.3%	-1.5%	47.9%	85.5%	-2.3%

出典：農林水産省「水産物流通統計年報」(2002年)、「産地水産物流通統計」

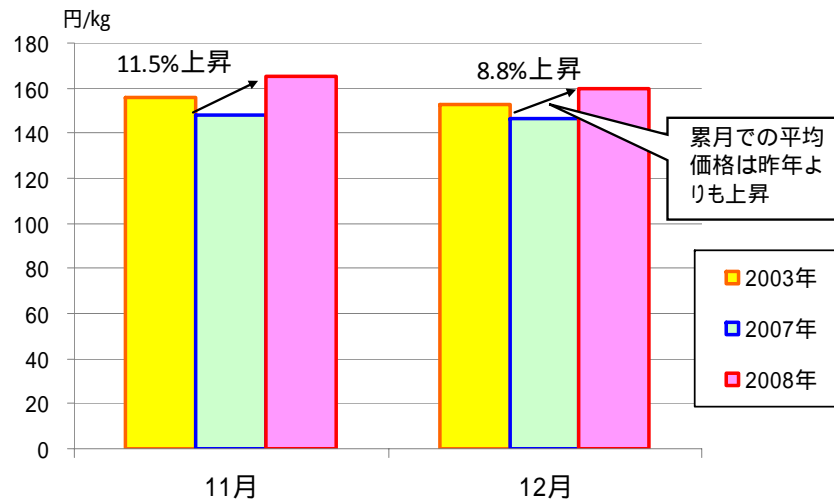
- 注：1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5696千トン、概算値)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2002、2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、2002年合計値との比較である。

2 産地平均卸売価格の動向

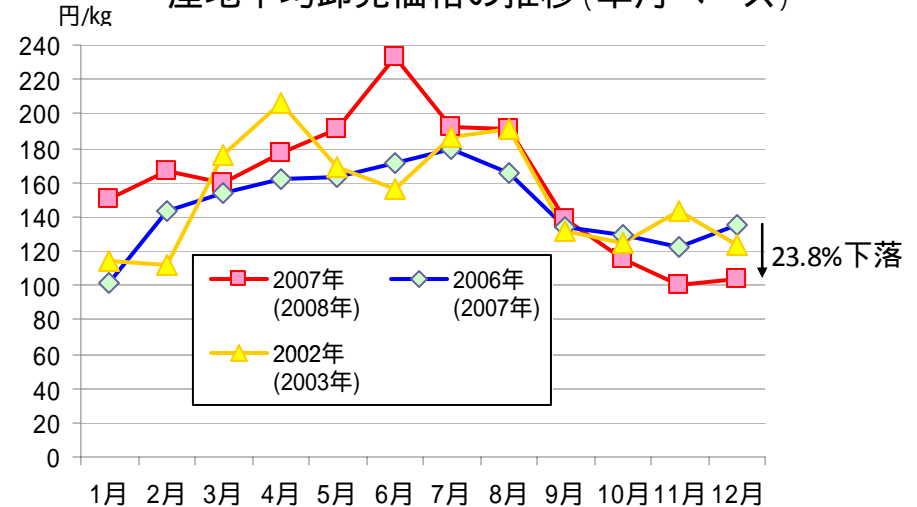
2008年12月までの平均(累計平均)の産地卸売価格は、前年同月比で8.8%上昇したが、前年同月比11.5%上昇であった先月よりも上昇幅がやや縮小した。これは、12月単月ベースで主にさんま、生鮮するめいかの水揚金額が前年同月を上回った以上に、冷凍かつお等の水揚金額が大幅に減少したこと等により、単月での平均価格が前年同月比で23.8%下落したことによる。

なお、前年同月と比べ累計での平均価格が高いのは、累月ベースで生鮮するめいか、冷凍めばち等の水揚金額が下落したものの、冷凍かつお、さば類等の水揚金額が上昇したことによる。

11月、12月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



		H19平均	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H20平均
平均産地卸売価格	価格(円/kg)	147	150	166	159	177	191	233	193	191	139	115	100	103	160
	前年同月比	9.1%	48.4%	15.8%	3.5%	9.0%	17.0%	36.1%	7.3%	15.0%	4.0%	-11.5%	-18.4%	-23.8%	8.8%
	2003年同月比	-3.6%	31.3%	49.3%	-9.7%	-14.2%	13.4%	49.5%	3.0%	0.0%	5.0%	-7.9%	-30.2%	-16.4%	4.5%

出典：農林水産省「水産物流通統計年報」(2002年)、「産地水産物流通統計」

- 注：1) 本統計は、全国2117漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5696千トン、概算値)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2002、2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、2002年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品 目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)		
	平成20年 1月～12月	19年 1月～12月	対前年 同期比	平成20年 1月～12月	19年 1月～12月	対前年 同期比
			%			%
ま ぐ ろ (生鮮) 1	2 715	3 406	80	1 648	1 603	103
" (冷凍) 2	1 011	931	109	2 822	2 746	103
び ん な が (生鮮) 3	31 322	48 717	64	323	242	133
" (冷凍) 4	9 465	14 865	64	396	292	136
め ば ち (生鮮) 5	9 224	11 932	77	1 170	1 129	104
" (冷凍) 6	20 360	19 963	102	857	799	107
き は だ (生鮮) 7	10 168	6 420	158	656	735	89
" (冷凍) 8	9 038	10 205	89	585	518	113
か つ お (生鮮) 9	76 045	72 884	104	299	275	109
" (冷凍) 10	208 028	224 206	93	201	163	123
ま い わ し 11	15 805	41 669	38	112	101	111
う る め い わ し 12	21 548	30 689	70	61	65	94
か た く ち い わ し 13	97 329	125 098	78	51	43	119
ま あ じ 14	95 775	95 099	101	220	188	117
む ろ あ じ 15	20 039	15 741	127	101	100	101
さ ば 類 16	452 406	411 224	110	86	82	105
さ ん ま 17	307 206	257 871	119	66	73	90
ほ っ け 18	118 498	104 951	113	55	38	145
するめいか (生鮮) 19	52 229	83 443	63	162	159	102
" (冷凍、遠洋) 20	1 269	2 505	51	183	198	92
" (冷凍、近海) 21	43 611	50 491	86	214	233	92

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

注:1)平成19年1月分調査より調査区の見直しを行った。なお、「対前年同期比」は、平成18年より引き
続き調査を行っている調査区のみで算出している。

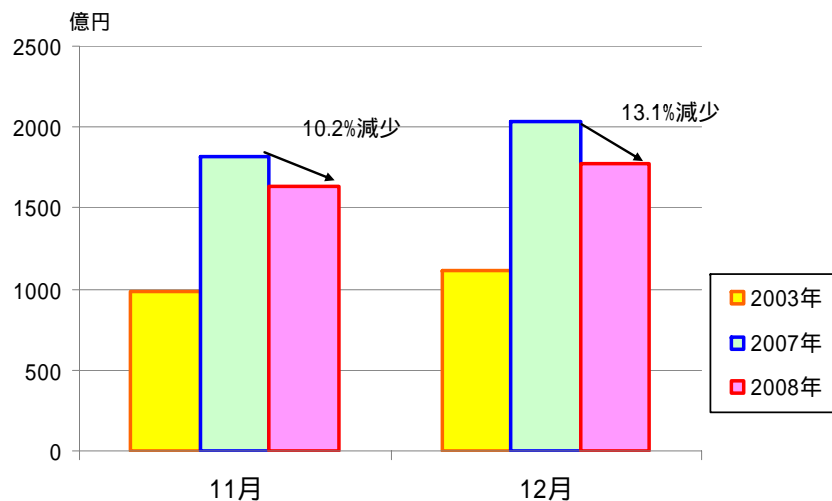
2)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

3 - 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

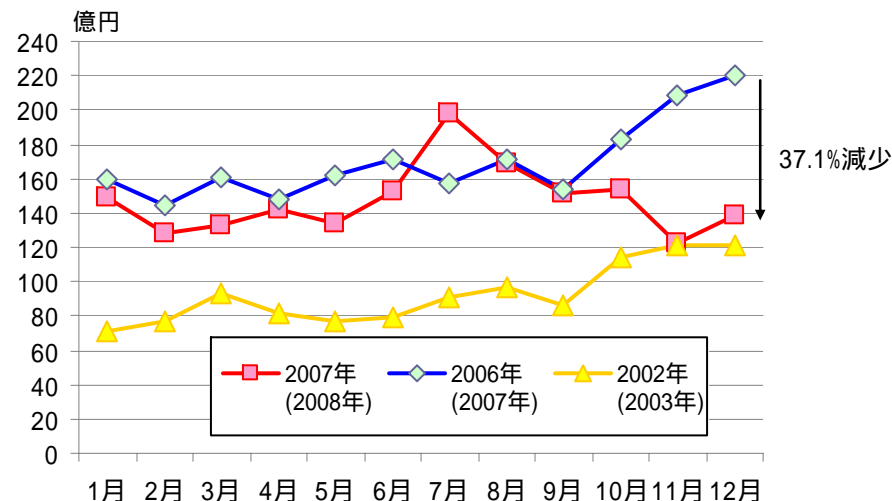
2008年12月の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は、前年同月比で13.1%減少したが、前年同月比10.2%減少であった先月よりも減少幅が拡大した。これは、前年同月と比べ単月ベースであわび調製品(111.5%増)、さば缶詰(154.4%増)等の輸出金額が増加した以上に、すけとうだら(67.5%減)、さけ・ます(49.0%減)等の輸出金額が減少したことで、12月単月ベースでの輸出金額が37.1%減少したことによる。

なお、前年同月と比べ累計の輸出金額が少ないのは、累月ベースでほたて貝、かつお類等の輸出金額が増加したものの、まぐろ類、すけとうだら等の輸出金額が減少したことによる。

11月、12月の累計輸出金額の変化



水産物輸出金額の推移(単月ベース)



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H20累計
輸出	金額(億円)	2,039	149	128	133	142	134	152	198	169	152	153	122	139	1,772
	前年同月比	19.7%	-6.5%	-10.9%	-17.3%	-3.9%	-16.8%	-10.9%	26.0%	-1.6%	-0.9%	-16.3%	-41.8%	-37.1%	-13.1%
	2003年同月比	97.4%	108.1%	66.2%	42.6%	72.8%	73.5%	91.8%	119.0%	74.5%	76.6%	33.8%	0.7%	14.7%	59.5%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の「前年同月比」については、2002年合計値との比較である。

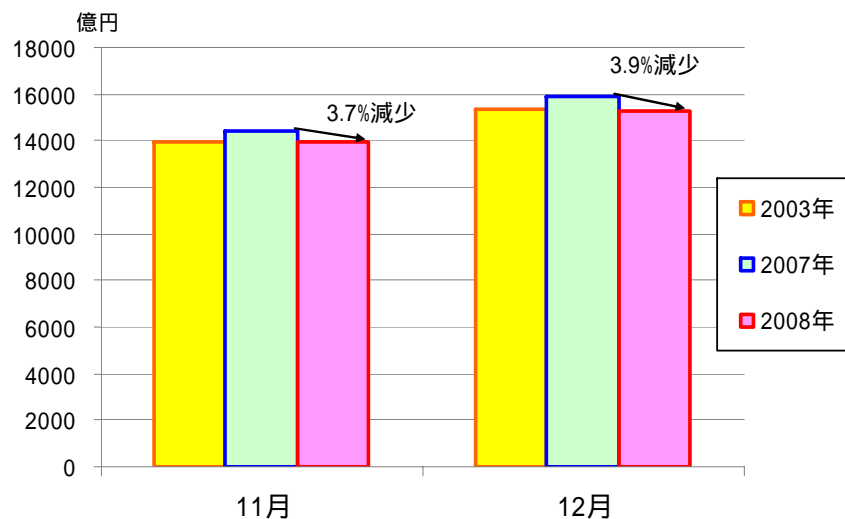
2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3 - 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

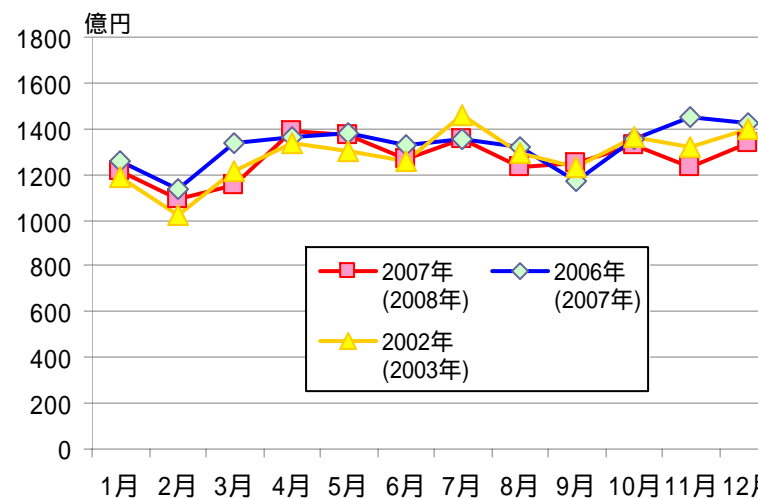
2008年12月の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は、前年同月比で3.9%減少したが、前年同月比3.7%減少であった先月よりも減少幅が拡大した。これは、前年同月と比べ、12月単月ベースでは(42.4%増)、かに(22.5%増)等の輸入金額が増加したものの、まぐろ類(33.9%減)、えび(15.9%減)等の輸入金額が減少したことにより、単月ベースでの輸入金額が6.0%減少したことによる。

なお、前年同月と比べ累計輸出金額が少ないのは、累月ベースでの輸入金額がたらの卵、たら等で増加したものの、えび、うなぎ調製品等で減少したことによる。

11月、12月の累計輸入金額の変化



水産物輸入金額の推移(単月ベース)



	H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H20累計	
輸入	金額(億円)	15,870	1,218	1,094	1,157	1,390	1,376	1,270	1,355	1,236	1,253	1,332	1,230	1,339	15,249
	前年同月比	-4.3%	-3.4%	-3.9%	-13.2%	1.8%	-0.1%	-4.4%	0.2%	-6.6%	7.0%	-1.4%	-15.0%	-6.0%	-3.9%
	2003年同月比	-8.3%	2.2%	7.0%	-4.7%	4.3%	5.9%	1.0%	-6.9%	-4.5%	1.8%	-2.2%	-7.0%	-4.1%	-0.8%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の については、2002年合計値との比較である。

2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考)品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成20年 1～12月	平成19年 1～12月	前年 同月比	品目	平成20年 1～12月	平成19年 1～12月	前年 同月比
真珠	319.7	365.3	-12.5%	まぐろ・かじき類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	2081.4	2136.0	-2.6%
ほたて貝 (生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	149.1	127.0	17.4%	えび (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	1974.1	2259.3	-12.6%
さば (冷蔵・冷凍)	148.4	141.0	5.3%	さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	1299.8	1421.5	-8.6%
乾燥なまこ (調製)	133.2	166.7	-20.1%	かに (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	695.5	658.3	5.7%
さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	102.8	133.5	-23.0%	たら卵	569.0	451.1	26.1%
かつお類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	101.2	81.4	24.4%	えび (調製)	549.9	600.5	-8.4%
まぐろ類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	94.5	148.5	-36.3%	たら (生鮮・冷蔵・冷凍・すり身)	424.3	345.1	23.0%
貝柱 (調製)	81.6	101.0	-19.2%	真珠	421.9	519.5	-18.8%
すけとうだら (生鮮・冷凍・冷蔵)	71.3	123.2	-42.1%	いか (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	399.9	524.2	-23.7%
練り製品 (魚肉ソーセージ等)	61.4	59.1	3.9%	たこ (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	341.2	343.6	-0.7%
さんま (冷凍)	46.1	29.6	55.7%	魚粉	318.0	434.5	-26.8%
いか (生鮮・冷凍・冷蔵)	40.5	21.6	87.5%	うなぎ (活)	265.9	262.0	1.5%

資料：農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

注：1) 本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

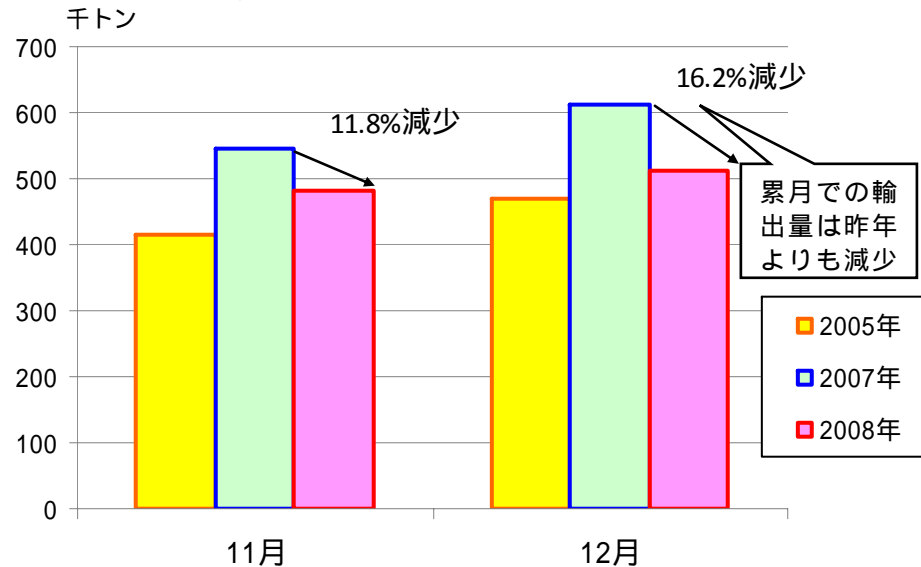
2) 「まぐろ・かじき類」は、輸出については輸出入情報の「まぐろ類」と、財務省貿易統計の「かじき」を合算して算出し、輸入については輸出入情報の「まぐろ類」と「かじき」を合算して算出。

4 - 水産物輸出数量の動向

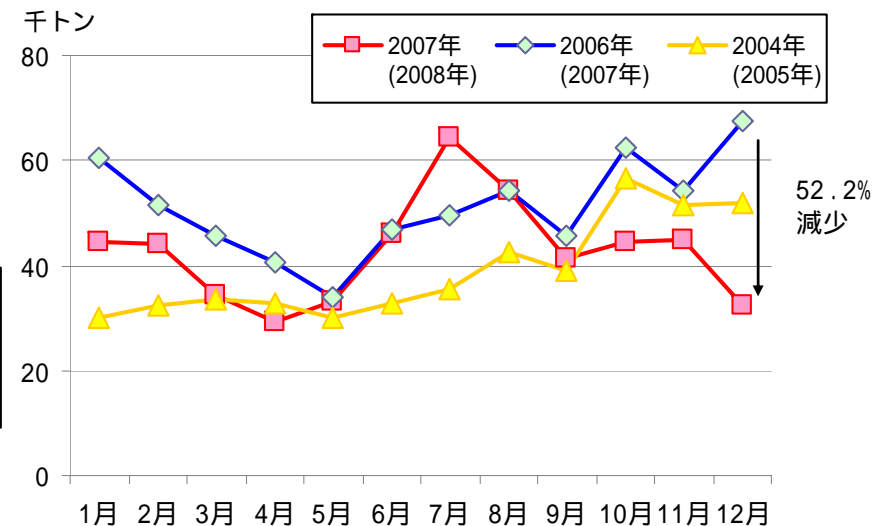
2008年12月の水産物の累計輸出量は、前年同月と比べ16.2%減少し、前年同月比11.8%であった先月よりも減少幅が拡大した。これは、前年同月と比べ、単月ベースでいか(48.1%増)、さめ(110.5%増)等の輸出量が増加したものの、すけとうだら(75.1%減)、さけ・ます(53.2%減)等の輸出量が減少したことにより、単月ベースでの輸出量が52.2%減少したことによる。

なお、前年同月と比べ累計輸出量が少ないのは、累月ベースでさんま、いか等の輸出数量が増加したものの、すけとうだら、まぐろ類等の輸出数量が減少したことによる。

11月、12月の累計輸出量の変化



水産物輸出数量の推移(単月ベース)



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H20累計
輸出	数量(千トン)	612.2	44.5	44.3	34.3	29.2	33.4	45.9	64.6	54.1	41.4	44.5	44.7	32.2	512.9
	前年同月比	1.4%	-26.2%	-14.3%	-24.9%	-27.9%	-1.8%	-1.9%	30.0%	-0.3%	-9.1%	-28.8%	-17.3%	-52.2%	-16.2%
	2005年同月比	44.3%	48.8%	36.9%	2.6%	-11.3%	11.3%	40.5%	80.9%	27.1%	6.0%	-21.6%	-12.9%	-38.0%	9.5%

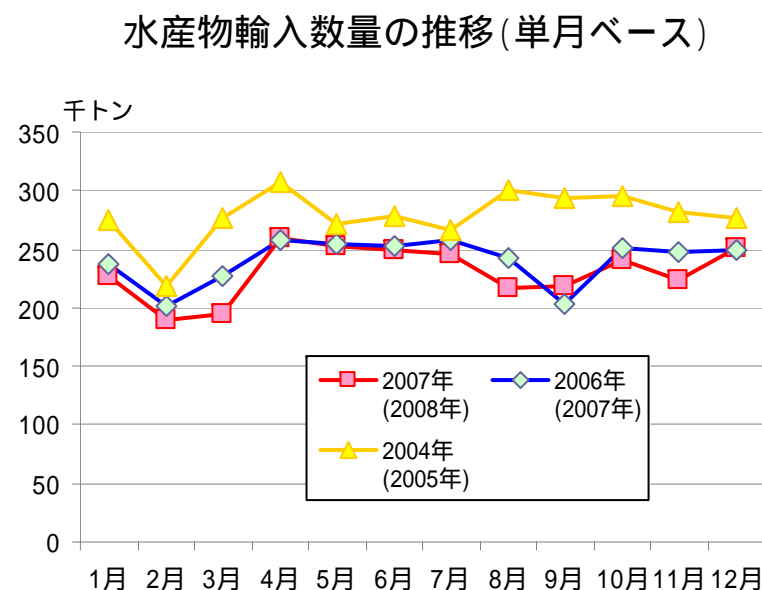
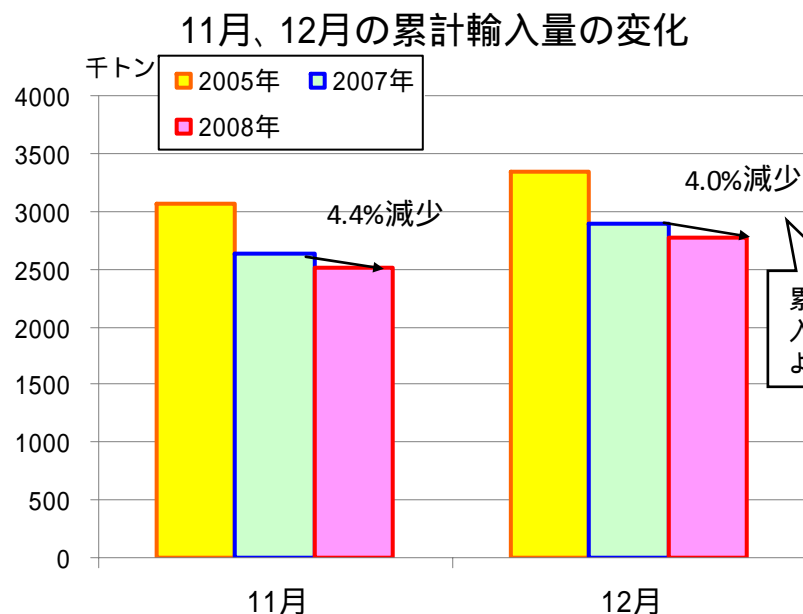
資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の については、2004年合計値との比較である。
2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。
3) 輸出入数量については、2003年以前の月別データがないため2005年値との比較である。

4 - 水産物輸入数量の動向

2008年12月の水産物の累計輸入量は、前年同月比で4.0%減少し、前年同月比4.4%減少であった先月よりも減少幅がやや縮小した。これは、前年同月に比べ、12月単月ベースでまぐろ類(19.9%減)、えび(11.0%減)等の輸入量が減少したものの、さば(32.7%増)、まだら(842.1%増)等の輸入量が減少したことにより、単月ベースでの輸入量が0.5%増加したことによる。

なお、前年同月と比べ累計輸入量が少ないのは、累月ベースでさば、ひらめ・かれい等の輸入量が増加したものの、たら、まぐろ・かじき類等の輸入量が減少したことによる。



		H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H20累計
輸入	数量(千トン)	2,884	226	190	194	259	253	250	245	216	219	241	223	251	2,768
	前年同月比	-8.4%	-4.6%	-6.0%	-14.7%	0.4%	-0.5%	-1.0%	-4.6%	-10.9%	7.6%	-4.1%	-9.7%	0.5%	-4.0%
	2005年同月比	-17.3%	-17.7%	-12.8%	-29.7%	-15.7%	-7.1%	-10.6%	-7.8%	-28.1%	-25.3%	-18.3%	-21.1%	-9.3%	-17.2%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の については、2004年合計値との比較である。

2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3) 輸出入数量については、2003年以前の月別データがないため2005年値との比較である。

(参考)品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成20年 1～12月	平成19年 1～12月	前年 同月比	品目	平成20年 1～12月	平成19年 1～12月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	133.1	156.3	-14.8%	さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	247.8	238.2	4.0%
かつお類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	58.2	55.8	4.3%	まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	212.8	236.8	-10.2%
さんま (冷凍)	57.1	32.9	73.3%	えび (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	202.3	214.6	-5.7%
さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	45.1	58.9	-23.3%	たら (生鮮・冷凍・冷蔵。 すけとうだらを除く。)	92.0	116.6	-21.1%
すけとうだら (生鮮・冷凍・冷蔵)	38.7	79.6	-51.4%	いか (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	87.5	103.1	-15.2%
いか (生鮮・冷凍・冷蔵)	31.3	14.3	118.1%	かに (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	73.7	75.1	-2.0%
まぐろ類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	24.3	47.7	-49.0%	さば (生鮮・冷蔵・冷凍)	69.8	45.8	52.4%
ほたて貝 (生鮮・冷凍・冷蔵・ 塩蔵・乾燥)	11.6	8.8	30.7%	えび (調製)	64.3	66.9	-3.9%
練り製品 (魚肉ソーセージ等)	8.0	8.4	-5.2%	ひらめ・かれい (生鮮・冷蔵・冷凍)	59.9	50.4	19.0%
たら (生鮮・冷凍・冷蔵・ すけとう除く)	7.3	14.6	-50.0%	たこ (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	44.7	46.8	-4.4%
ほや (活・生鮮・冷蔵)	6.7	6.7	0.0%	たらの卵	44.5	40.9	8.7%
たい (活)	5.7	3.5	63.8%	あじ (冷凍)	41.6	45.0	-7.6%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

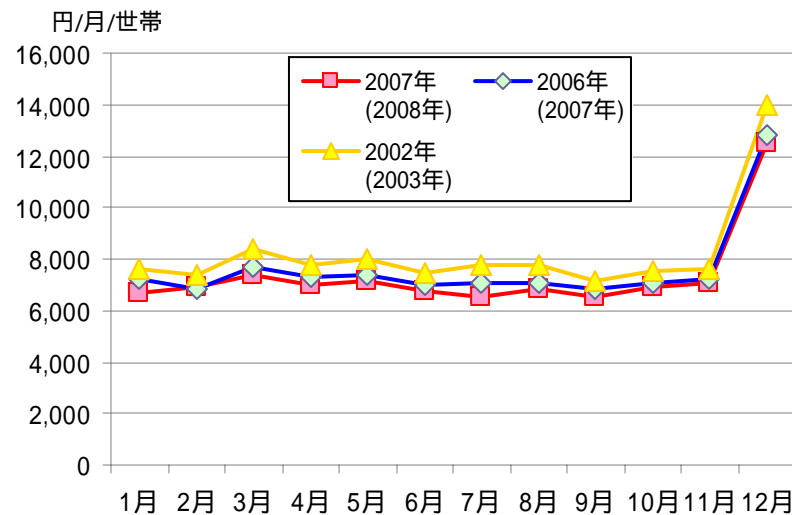
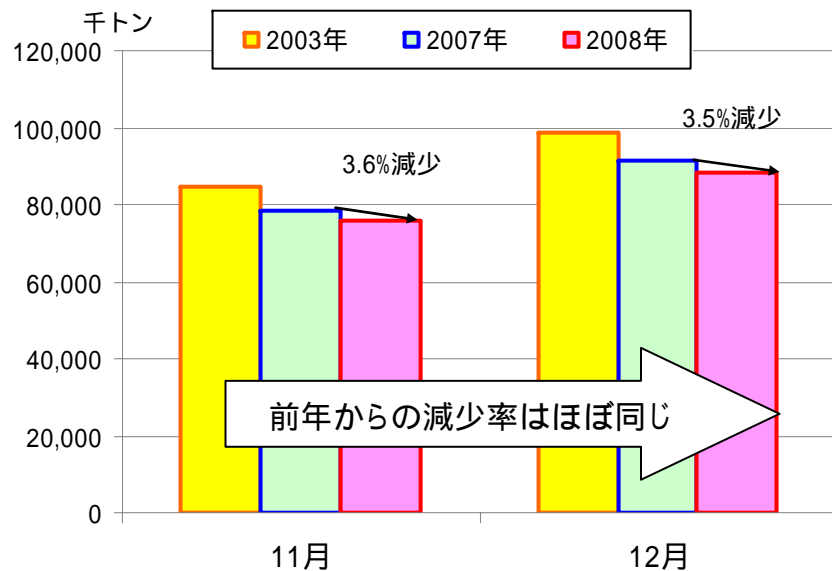
2)「まぐろ・かじき類」は、輸出については輸出入情報の「まぐろ類」と、財務省貿易統計の「かじき」を合算して算出し、輸入については輸出入情報の「まぐろ類」と「かじき」を合算して算出。

5 魚介類の家計消費の動向

2008年12月の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は、前年同月と比べ3.5%減少し、前年同月比3.6%減少であった先月とほぼ同じ減少幅となった。これは、12月単月ベースで魚肉練製品(7.0%増)、えび(8.3%増)等の支出金額が増加した以上に、まぐろ(13.6%減)、塩干魚介(3.6%減)等の支出金額が減少したことにより単月ベースでの総支出金額が2.8%減少したことによる。

なお、前年同月と比べ累計支出金額が少ないのは、累月ベースで魚肉練製品、たい等の支出金額が増加したものの、まぐろ、ぶり等の支出金額が減少したことによる。

11月、12月の魚介類1世帯1月あたり累計支出金額の変化 魚介類1世帯1月あたり支出金額の推移(単月ベース)



	H19計	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H20累計	
魚介類支出金額	金額(円/月/世帯)	91,421	6,700	6,888	7,411	6,992	7,113	6,764	6,556	6,805	6,510	6,904	7,079	12,489	88,211
	前年同月比	-0.1%	-7.3%	0.8%	-3.5%	-3.8%	-3.9%	-3.2%	-7.0%	-3.3%	-4.5%	-2.3%	-1.7%	-2.8%	-3.5%
	2003同月比	-12.3%	-12.3%	-6.8%	-11.3%	-10.2%	-11.1%	-9.3%	-15.7%	-12.2%	-9.0%	-8.0%	-7.4%	-10.9%	-10.4%

資料:総務省「家計調査報告」

- 注: 1) 表中の については、2002年合計値との比較である。
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。
 4) 毎月初旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の一世帯当たり支出金額

品目	平成20年 12月	平成19年 12月	対前年 同月比	平成20年 1~12月	平成19年 1~12月	対前年 同月比	品目	平成20年 12月	平成19年 12月	対前年 同月比	平成20年 1~12月	平成19年 1~12月	対前年 同月比
鮮魚	6,019	6,295	-4.4%	47,101	50,130	-6.0%	ほたて貝	228	205	11.2%	1,595	1,516	5.2%
まぐろ	750	868	-13.6%	5,900	6,928	-14.8%	他の貝	70	78	-10.3%	540	591	-8.6%
あじ	99	97	2.1%	1,643	1,742	-5.7%	塩干魚介	2,430	2,521	-3.6%	16,648	16,847	-1.2%
いわし	31	31	0.0%	588	733	-19.8%	塩さけ	359	437	-17.8%	2,169	2,183	-0.6%
かつお	58	63	-7.9%	1,711	1,886	-9.3%	たらこ	386	398	-3.0%	3,046	3,121	-2.4%
かれい	142	162	-12.3%	1,619	1,675	-3.3%	しらす干し	111	111	0.0%	1,552	1,549	0.2%
さけ	347	331	4.8%	4,188	4,033	3.8%	干しあじ	101	85	18.8%	1,173	1,254	-6.5%
さば	100	111	-9.9%	1,156	1,337	-13.5%	干しいわし	28	33	-15.2%	412	431	-4.4%
さんま	68	49	38.8%	1,463	1,479	-1.1%	煮干し	51	60	-15.0%	466	530	-12.1%
たい	158	145	9.0%	1,385	1,229	12.7%	他の塩干魚介	1,393	1,396	-0.2%	7,830	7,777	0.7%
ぶり	602	661	-8.9%	3,387	3,681	-8.0%	魚肉練製品	1,706	1,594	7.0%	9,361	8,967	4.4%
いか	233	251	-7.2%	2,869	2,989	-4.0%	揚げかまぼこ	298	260	14.6%	2,660	2,572	3.4%
たこ	176	163	8.0%	1,299	1,383	-6.1%	ちくわ	179	159	12.6%	1,784	1,684	5.9%
えび	637	588	8.3%	3,624	3,638	-0.4%	かまぼこ	888	870	2.1%	3,309	3,281	0.9%
かに	926	1006	-8.0%	2,052	2,296	-10.6%	他の魚肉練製品	341	304	12.2%	1,610	1,432	12.4%
他の鮮魚	997	1061	-6.0%	8,574	9,033	-5.1%	他の魚介加工品	1,691	1,763	-4.1%	10,401	10,783	-3.5%
さしみ盛合わせ	695	709	-2.0%	5,640	6,067	-7.0%	かつお節・削り節	122	135	-9.6%	986	1,015	-2.9%
貝類	644	678	-5.0%	4,699	4,654	1.0%	魚介の漬物	667	699	-4.6%	3,011	3,184	-5.4%
あさり	51	62	-17.7%	1,083	1,084	-0.1%	魚介のつくだ煮	243	277	-12.3%	1,203	1,385	-13.1%
しじみ	29	31	-6.5%	433	486	-10.9%	魚介の缶詰	259	249	4.0%	2,396	2,344	2.2%
かき	266	302	-11.9%	1,053	976	7.9%	他の魚介加工品の その他	400	403	-0.7%	2,806	2,860	-1.9%

資料:総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における2007年及び2008年合計値は速報値である。

次回(2009年1月版)の発行は、2009年4月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344